

テーマ：海の世界

長崎保育園(豊島区)

テーマを設定する

去年の年長児が作っていた海の生き物を「作りたい!」と子どもたちから声があがったので、好きな生き物を選んで作り、光と影あそびに取り入れてみることにした。アーティストワークショップで身体で表現することも楽しんでいたので、一緒に取り入れる。

活動 ワークショップ

海の世界に関連する絵本や、園外活動で訪れる予定の水族館で見られる生き物の姿から、想像力を膨らませて、身体表現をしたり、オリジナルの海を描いて遊ぶ活動を実施。

環境をデザインする

準備物: ハترون紙、クレヨン、養生シート、スズランテープ、ビニール傘、クリアファイルほか

探究活動を実践する

●活動内容

1. 絵本を導入として、ペンギンになって身体を動かす。
2. 海の生き物の動きを身体で表現。
3. 紙芝居を読み、イメージを膨らませて、自分たちのうみを描く。さまざまな海の生き物を描いたり、色をぬったりする。
4. 作った海を鑑賞。頭上ではためかせたり、筒状にしてトンネルを潜って遊ぶ。
5. 両面テープとスズランテープのついたベルトを装着。紙の海をやぶって、その破片をベルトに貼付け、海の生き物に変身する。
6. 自由に動き回ったり、海の破片を紙吹雪のように浴びたりして遊ぶ。

●子どもたちの様子

・アーティストからの海の生き物に関する問いかけに対して、自分の生活と重ねながら、根拠を示して応答する姿が見られた。また、知っている言葉を使って説明することができていた。
・身体表現、オリジナルの海づくりのいずれの活動においても、豊かな発想をする姿が見られ、遠足への期待感が高まっていた。

活動スケジュール(5歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① ワークショップ 講師: たけうちみずゑ(俳優)他2名	R7.12.8 (月)	60分程度	17人
② イケバスでの園外活動	R7.12.19 (金)	4時間程度	20人
③ 影の中で子どもたち自身が海の生き物になりきって動いてみる	R7.12.13 (金)	60分程度	20人



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

- ・水族館への興味から、さまざまな海の世界のアイデアが生まれ、身体表現も制作もダイナミックに楽しむことができた。
- ・年長クラスではルールのある遊びや集団遊びの機会が多いが、今回のような開放的な活動も、子どもたちの自由な想像力や創造力が引き出される良さがあった。
- ・読み聞かせや身体表現、絵を描く活動、衣装づくり等、それぞれの楽しめるポイントで、活動への気持ちがぐっと入っていく姿が見られた。